



BLUE BOTTLE
COFFEE

こだわりが詰まったスペシャルティコーヒー体験をもっと身近に！ ブルーボトルコーヒー日本一号店が旗艦店としてリニューアル ブルーボトルコーヒー 清澄白河フラッグシップカフェ10月4日（金）オープン

ブルーボトルコーヒージャパン合同会社（本社：東京都江東区）は、
2019年10月4日（金）にブルーボトルコーヒー 清澄白河フラッグシップカフェをオープンいたします。



倉庫を改装した開放感のある建物はそのままだに、店内を大胆にリノベーション。ブルーボトルコーヒーらしいカジュアルな雰囲気の入り口エリアから、奥に進んだ開店当初ロスターが配置されていた場所にはトレーニングラボ、C Bar（コーヒーに関するご相談ができる場所）、ソファ席を含む上質で落ち着いた空間となり、これまで以上に様々なシチュエーションでのご利用が可能となりました。

スペシャルティコーヒーをトレンドからカルチャーへ。日本一号店リニューアルにかける想い

「スペシャルティコーヒーを日本にカルチャーとして根付かせたい。」2015年の日本上陸以来4年半、ブルーボトルコーヒーはその想いを胸に、こだわり抜いたコーヒーを一杯一杯丁寧に抽出し、その体験をさらに高めるカフェデザインとホスピタリティを通して、数多くのゲストに心に残る美味しさをお届けしてきました。スペシャルティコーヒーは「サードウェーブコーヒー」と呼ばれ大きなトレンドとなり、現在16店舗へと拡大したブルーボトルコーヒーは、来年2月に日本上陸5年を迎えます。ここから私たちが目指すのは、「トレンドからカルチャーへ」。スペシャルティコーヒーをもっと身近に感じてもらうための第一歩として、日本一号店であり日本国内のカフェで提供される豆の焙煎を行う生産拠点としての役割を果たしてきた清澄白河ロスター&カフェを、誰もが特別な一杯と出会い・楽しみ・深く知ることができる、スペシャルティコーヒー体験をより身近に感じる場として、新たにリニューアルします。

KIYOSUMI SHIRAKAWA FLAGSHIP CAFE 清澄白河フラッグシップカフェについて

美味しいコーヒー体験に込められた無限の可能性に会う、こだわりのあふれる空間

清澄白河フラッグシップカフェで提供されるコーヒーは、ブルーボトルコーヒーの特徴である“SEED TO CUP”として豆の原産地から抽出に至るまで各工程にこだわったコーヒーの中でも、その季節に美味しさのピークを迎えるシングルオリジンコーヒーをメインに幅広くラインナップ。

ここでしかお召しあがりいただけない限定フードメニューとともに、

ブルーボトルコーヒー初となるフルサービスのおもてなしでゆったりとお楽しみいただけます。

さらに併設されたトレーニングラボでは、コーヒーに関する様々な内容のクラスが受けることができ、

コーヒー初心者から上級者まで何度でも足を運びたいくなる空間です。

こだわり1

その季節に旬を迎える、 厳選されたシングルオリジンコーヒーを提供

フルーツに旬があるように、コーヒーチェリーという果物の種子であるコーヒー豆にも実は旬があります。その美味しさが一番高まる旬の時期にゲストに提供するためには、農家との関係性やソーシングから焙煎までの綿密な計画、焙煎士の高い知識や技術が必要です。清澄白河フラッグシップカフェでは、その季節に旬を迎える豆の個性を味わっていただくため、あえてブレンドではなく単一産地のシングルオリジンをメインに提供。そして担当者が農地に直接出向き厳選した旬の豆の味を、最大限に活かしそのピークを迎える頃に楽しめるよう、豆により焙煎の時間や温度、また焙煎後から提供までの日数を調節するため、産地や精製方法による味の繊細な違いを十分に楽しめます。またハンドドリップだけでなく、エスプレッソ、サイフォンやネルドリップなどでもご用意することにより、お好みに合わせた味わいを抽出方法からお選びいただけます。



こだわり2

スペシャルなコーヒーとデザートを、 フルサービスで心ゆくまで楽しめる空間

清澄白河フラッグシップカフェは、バリスタがゲストの席まで注文を取りに伺いドリンクや食事まで運ぶブルーボトルコーヒーでは初めてのフルサービス店舗となり、パフェや旬のフルーツを使用したタルトなど、清澄白河フラッグシップカフェでしか食べられないデザートメニューが充実します。後藤裕一と仲村和浩によるパティシエユニット Tangentes (タンジエント) をアドバイザーに迎え開発されたコーヒーと相性抜群なデザートは、そのためだけでも足を運ぶ価値あり。全て自社キッチンで丁寧に手作りされ、味はもちろん見た目にも美しく、数品をシェアして食べるにもぴったりです。ブルーボトルらしいパーソナライズされたホスピタリティ溢れるフルサービスで、様々なシチュエーションでご利用いただけます。



こだわり3

コーヒーとお客様をつなぐ “C Bar”の開設と幅広いレベルのコーヒークラス

清澄白河フラッグシップカフェでは、ブルーボトルコーヒー初となる“C Bar”を開設いたしました。“C Bar”とは、COFFEEとお客様をCONNECTしていくことを目的として、お客様にCURIOSITY（興味）を持っていただき、新しくコーヒーを囲むCOMMUNITYを作っていきたいという思いで作られました。このコンセプトである、COFFEE, CONNECT, CURIOSITY, COMMUNITYの頭文字から“C Bar”と名付けられました。スペシャルティコーヒーに興味をお持ちでも、少し敷居が高いと感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、清澄白河フラッグシップカフェでは、ブルーボトルコーヒーオリジナルのトレーニングを受けた熟練したバリスタが“C Bar”に立ち、コーヒーのあらゆる質問にお答えします。コーヒーについて、コーヒー器具について、わからないこと、知りたいことなどをぜひお尋ねください。

また、“C Bar”では、ブルーボトルコーヒー初の豆の量り売りも行います。まずは少量で気になる豆を自宅で試してみたい方や、自宅でいつも使っている容器に直接入れてもらうことで余分なゴミを減らしたい方、また、ご自身で選んだ豆を店頭で販売するオリジナルキャニスターに入れてギフトにしたいという方などにおすすめです。

さらに清澄白河フラッグシップカフェではブルーボトルコーヒー初のトレーニングラボを開設し、受講後にはご自身でも驚くような出来栄のコーヒーが淹れられるドリッピングクラスやカップングラス、また普段触る機会がなかなかないエスプレッソマシンなどのクラスも開催を予定しています。普段ブルーボトルコーヒーのバリスタを実際に教えているトレーナーが直接指導し、コーヒー初心者の方から、中・上級者の方にも楽しんでいただけるメニューをご用意しています。



ABOUT GRAND OPENING グランドオープンについて

グランドオープン時には数量限定販売アイテムや マイケル・フィリップスがコーヒーをサーブするイベントなどが目白押し

10月4日(金)のオープン時には、2010年に世界バリスタ大会チャンピオンとなり現在ブルーボトルコーヒーのディレクター オブ コーヒーカルチャーを務めるマイケル・フィリップスがバリスタとしてドリンクを提供するほか、大谷焼の伝統技術と新しい世界観が融合した徳島県のブランド「SUEKI CERAMICS」とコラボレーションしたコーヒーキャニスターなど、サステナビリティをテーマに開発するオリ

ジナルコーヒーアイテムの限定発売や、イベントをご用意しております。ワークショップラボで行うクラスの予約受付は、9月下旬よりPeatixのBlue Bottle Coffee Japanページ(<https://bluebottle.peatix.com/>)にて開始予定です。コーヒー初心者から上級者まで、新たなコーヒー体験を通して、コーヒーライフの発信地となる清澄白河フラッグシップカフェ。みなさまのお越しをお待ちしています。

[ブルーボトルコーヒー
清澄白河フラッグシップカフェ]
※2019年10月4日(金) OPEN

〒135-0023 東京都江東区平野 1-4-8
店舗面積 184.27㎡
席数 47席
営業時間 8:00~19:00

ABOUT BLUE BOTTLE COFFEE ブルーボトルコーヒーとは

ブルーボトルコーヒーは2002年に、創業者のジェームス・フリーマンによって、アメリカ・カリフォルニアで誕生しました。創業以来、デリシャスネス、ホスピタリティ、サステナビリティを信念に掲げながら、おいしさを徹底的に追求したコーヒーを提供してまいりました。また、自社のロースタリーから焙煎したてのコーヒーを配送可能な地

域にのみカフェをオープンすることで、おいしさのピークに合わせてエイジングしたコーヒー豆の販売を行っています。現在は、サンフランシスコ、ニューヨーク、ロサンゼルス、ワシントン D.C.、ボストン、ソウル、東京、京都、神戸で 80 店舗以上を展開しています (2019 年 9 月現在)。

[清澄白河フラッグシップカフェ]

※ 2019 年 10 月 4 日 (金) OPEN

〒135-0023 東京都江東区平野 1-4-8

店舗面積 184.27m²

席数 47 席

営業時間 8:00~19:00

[青山カフェ]

〒107-0062 東京都港区南青山 3-13-14

店舗面積 214m²

席数 80 席

営業時間 8:00~19:00

[新宿カフェ]

〒160-0022 東京都新宿区新宿 4-1-6

店舗面積 155.19m²

席数 45 席

営業時間 8:00~21:30

[六本木カフェ]

〒106-0032

東京都港区六本木 7-7-7

店舗面積 138.91m²

席数 27 席

営業時間 8:00~20:00

[中目黒カフェ]

〒153-0061

東京都目黒区中目黒 3-23-16

店舗面積 417.78m²

(カフェエリア: 61.49m²)

席数 40 席

営業時間 8:00~19:00

[品川カフェ]

〒108-0075 東京都港区港南 2-18-1

店舗面積 165.80m²

席数 27 席

営業時間 8:00~22:00 (平日)

10:00~22:00 (土日祝日)

[三軒茶屋カフェ]

〒154-0024

東京都世田谷区三軒茶屋 1-33-18

店舗面積 93.97m²

席数 33 席 + テラスエリア

営業時間 8:00~19:00

[京都カフェ]

〒606-8437

京都府京都市左京区南禅寺草川町 64

店舗面積 452.98m²

(カフェエリア: 64.98m²)

席数 44 席

営業時間 8:00~18:00

[神戸カフェ]

〒650-0039 神戸市中央区前町 1

店舗面積 217.8m²

席数 63 席

営業時間 8:00~19:00

[目黒カフェ]

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-2-19 1F

店舗面積 69.33m²

座席数 19 席

営業時間 7:00~19:00 (平日)

8:00~19:00 (土日祝)

[神田万世橋カフェ]

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-25-4

店舗面積 24.91m²

営業時間 8:00~19:00 (平日)

11:00~19:00 (土日祝)

[池袋カフェ]

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-23-7

店舗面積 65.01m²

席数 9 席

営業時間 8:00~19:00 (平日)

9:00~19:00 (土日祝)

[大丸東京カフェスタンド]

〒100-6701

東京都千代田区丸の内 1-9-1

店舗面積 24.9m²

営業時間 8:00~21:00 (平日)

8:00~20:00 (土日祝)

[恵比寿カフェ]

〒150-0022

東京都渋谷区恵比寿南 1-5-5

アトレ恵比寿本館 1 階

店舗面積 85.07m²

席数 21 席

営業時間 8:00 ~ 21:00

[銀座カフェ]

〒104-0061

東京都中央区銀座 6-10-1

GINZA SIX B2F

店舗面積 117.79m²

席数 48 席

営業時間 8:00 ~ 20:30 (平日)

10:30 ~ 20:30 (土日祝)

[代官山コンセプトショップ]

※ 2019 年 10 月末終了予定

〒150-0034

東京都渋谷区代官山町 20-23

TENOHA 代官山 Q's spot

DAIKANYAMA 区画

店舗面積 74.38m²

席数 16 席

営業時間 11:00~20:00 (平日)

10:00~20:00 (土日祝)

Online Store

<https://bluebottlecoffee.jp/shipping>

問い合わせ先

Blue Bottle Coffee Japan 合同会社

広報担当 (吉田): japan_press@bluebottlecoffee.com

tel: 050-1746-8504

[@bluebottlejapan](https://www.instagram.com/bluebottlejapan)